

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市松峰園

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労継続支援B型事業サービスを適切に提供し、障害者の自立を支援しました。

【事業実績】

月	就労継続支援B型	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	46	22	1	0	878	39.9
5	46	19	0	0	746	39.3
6	46	22	0	0	898	40.8
7	46	21	0	0	803	38.2
8	46	20	0	0	744	37.2
9	46	21	0	0	821	39.1
10	46	22	0	0	864	39.3
11	46	22	0	0	810	36.8
12	46	21	0	0	793	37.8
1	46	20	0	0	763	38.2
2	46	19	0	0	726	38.2
3	46	23	0	0	869	37.8
計	552	252	1	0	9,715	38.5
前年度	544	253	2	0	9,710	38.8

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月15日	福祉施設におけるリスクマネジメント	松峰園内部研修
5月31日	整備管理者選任前研修	多賀城市
6月10日	車両整備研修（日常点検について）	松峰園内部研修
6月16日	安全運転管理者講習会	南三陸町スポーツ交流村
8月10日	地域でつなぐ障害児者支援に関する研修会	宮城県気仙沼保健福祉事務所
10月21, 22日	改正食品衛生法セミナー	オンラインセミナー
11月29日	福祉サービスの苦情に関する研修会	オンラインセミナー
12月22日	精神疾患を学ぶ研修会①	宮城県気仙沼保健福祉事務所
令和4年1月19日	ペアレントメンター研修会	松岩公民館
1月25日	精神疾患を学ぶ研修会②	宮城県気仙沼保健福祉事務所
2月14, 17日	宮城県サービス管理責任者等更新研修	オンラインセミナー
3月23日	障害福祉サービス事業者集団指導	オンラインセミナー
3月23日	消費税・インボイス制度セミナー	オンラインセミナー
	※定例職員会議、課内会議は毎月実施	

【成果】嘱託医の協力のもと、新型コロナウイルスワクチン接種を施設内で利用者に実施するとともに、臨時開所を行い利用者の余暇活動支援の充実にも努めました。

給付費収入は、給付費の算定基準の変更に伴い収入が減少しましたが、生産活動の収入は増加し、支払い工賃平均月額が1万円を超え、利用者に多く還元することが出来ました。
（令和3年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度99.4% 前年度100.2%）

【課題】新型コロナウイルスの影響で受託作業（紙工等）が減少しましたが、木工、菓子製造は売り上げを伸ばし、結果昨年度より増収となりました。受託作業の収入が減少していることから、作業内容の見直しが必要です。

【今後の取組】目標工賃達成指導員を配置し、新しい清掃作業に取り組むなど生産活動の収入と、支払工賃の増加に努めます。

事業活動による収入68,505,311円

事業活動による支出 63,927,750円
その他の活動による支出 5,525,592円
（基金への繰出し3,000,000円含む）
当期資金収支差額 △948,031円

(2) 気仙沼市のみのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できる施設の存在と、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と障害者の自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	31	21	0	0	509	24.2
5	31	19	0	0	480	25.3
6	31	22	0	0	556	25.3
7	31	21	0	0	516	24.6
8	33	21	2	0	508	24.2
9	33	21	0	0	505	24.0
10	33	21	0	1	522	24.9
11	32	21	0	0	516	24.6
12	32	20	0	0	501	25.1
1	32	18	0	0	414	23.0
2	32	20	0	0	427	21.4
3	32	22	0	1	484	22.0
合計		247	2	2	5,938	24.0
前年度		243	1	6	6,054	24.9

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月22日	家族会・社協役職員との懇談会	本吉保健福祉センター
5月27日	虐待防止に関する内部研修	みのりの園
6月10日	救命講習・AED講習	みのりの園
6月16日	宮城県安全管理者等法定講習	南三陸町ベイサイドアリーナ
6月17日	自衛消防避難訓練（火災想定）	みのりの園
6月21日～7月9日	定期健康診断	市立本吉病院
6月29日	風水災害時のリスクマネジメント研修	みのりの園
7月7日	職員スキルアップ研修「虐待防止研修」	はまなすホール
8月10日	障害児者支援に関する研修会	気仙沼保健福祉事務所
9月9日	安全運転に関する内部研修	みのりの園
9月28日	虐待防止に関する内部研修	みのりの園
10月28日	障害者虐待防止内部研修	みのりの園
11月29日	福祉サービス苦情解決に関するオンライン研修	みのりの園
11月30日	感染症予防研修	みのりの園
12月2日	冬道の安全運転に関する内部研修	みのりの園
12月16日	個人用防護具着脱及び吐物処理内部研修	みのりの園
12月22日	精神疾患を学ぶ研修会	気仙沼保健福祉事務所

【成果】新型コロナウイルス感染症への感染予防対策として新しい生活様式（身体的距離、マスクの着用、手洗い、3密回避）を徹底し健康管理に努めるとともに、家族へも注意喚起を行い予防に努めました。

多動性や重複性のある利用者に対しては、障害特性に応じて個別支援等も行いながら安心して生活できるよう対応しました。また、高齢期の利用者に対しても適切な支援により安心安全な対応を心掛けました。

隔月で臨時開所日を設定し、コロナ禍であっても、ふれあいや楽しみがもてるよう余暇活動支援を行い喜ばれました。

生産活動や音楽活動、創作活動、運動等により生きがいを感じられるよう活動提供し、利用者の生活意欲向上と自立支援への働きかけを行いました。

（令和3年度 障害福祉サービス等事業収入目標達成度 97.8% 前年度101.8%）

【課題】コロナ禍での活動の制限や自粛が長期化となり、家庭や施設利用における利用者のストレス緩和への更なる創意工夫が必要です。また、高齢期における利用者の家庭での生活の質の確保について主たる介護者である家族の高齢化が顕著となり、家庭における介護力の低下が懸念されます。家庭での親亡き後を踏まえた入所施設の利用や介護保険を含めた在宅サービスの利用促進、施設運営面での安定経営に向けた新たな利用者の獲得が課題です。

【今後の取組】新型コロナウイルス感染症への対策を継続しながら、施設のBCP対応の推進に努めます。新しい生活様式に沿いながら地域住民との交流活動を再開し、地域との連携強化に努め、障害者に対する理解を更に深めるとともに、地域の一員として日頃から声を掛け合える共生社会を目指し地域に働きかけをしていきます。

職員全体で毎月収支の確認を行い、経営的視点を持ちながら施設運営にあたります。

【決算】事業活動収入49,751,125円

事業活動支出	45,944,202円
施設整備等による支出	1,303,040円
その他の活動による支出	2,468,976円
当期資金収支差額	34,907円

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業を適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。また、令和元年度より開始しました「保育所等訪問支援事業」や県からの受託事業である「宮城県障害児等支援事業」により、各関係機関との連携が強まり、障害児やその家族が地域で安定した生活が送れるよう努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	19	21	5	0	164	7.8
	26	25	4	0	220	8.8
5	19	18	0	0	148	8.2
	26	23	0	0	200	8.7
6	19	22	0	0	164	7.5
	26	26	0	0	241	9.3
7	21	21	2	0	164	7.8
	26	25	0	0	220	8.8
8	20	21	0	1	154	7.3
	26	26	0	0	171	6.6
9	20	20	0	0	157	7.9
	27	24	1	0	226	9.4
10	20	21	0	0	170	8.1
	27	26	0	0	221	8.5
11	20	20	0	0	147	7.4
	27	24	0	0	215	9.0
12	21	20	1	0	154	7.7
	27	24	0	0	214	8.9
1	24	19	3	0	140	7.4
	27	23	0	0	169	7.3
2	24	18	0	0	134	7.4
	28	22	1	0	186	8.5
3	16	23	1	9	161	7.0
	25	26	0	3	208	8.0
計	243	244	12	10	1,857	7.6
	318	294	6	3	2,491	8.5

【保育所等訪問支援事業】

月	契約者	新規契約者	訪問回数	契約解除者
4	6	3	4	
5	8	2	8	
6	10	2	9	
7	11	1	10	
8	11	0	6	
9	11	0	10	
10	13	2	9	
11	13	0	12	
12	13	0	9	
1	13	0	10	
2	13	0	10	
3	10	0	9	3
計		10	106	3

令和4年3月31日現在の利用状況

小学校・・・4校（4人）

保育所・・・2園（2人）

幼稚園・・・4園（6人）

認定こども園・・・1園（1人）

【宮城県障害児等療育支援事業】

相談件数57件 主な内訳としては下記のとおり

- (1) 訪問による療育指導【実人数 17回／延べ人数30人】
 - ・言葉の遅れなど発達のゆっくりなお子さんに対しての相談
 - ・発達検査や就学ガイダンス等に参加して関わり方の提案を行う
- (2) 外来による専門的な療育相談・指導【実人数：15 回／延べ人数20人】
 - ・並行保育先での困りごとの相談
 - ・家庭での困りごとの相談（就学先等の相談）
- (3) 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業等の療育技術の指導
 （実施回数：20回 実人数：12人 延べ人数： 20人）
 - ・関係機関と連携して児の関わり方の共有を図る
 - ・家庭や学校での困り感の相談から医療機関と連携を図り、情報を共有する
- (4) 発達障害者地域支援マネジャーとの連携
 - ・事例検討会の実施
 - ・障害児通所支援事業所でのお子さんの対応方法について（事例検討）
 - ・小学校での対応困難児に対しての巡回訪問の実施
- (5) 家族への支援
 - ・ペアレント・プログラムの実施
 - ・ペアレント・メンター派遣事業実施

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年5月30日	就学ガイダンス	気仙沼市松岩公民館
6月 8日	第1回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市中央公民館
6月16日	認定向山子ども園における特別支援教育	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
6月18日	気仙沼市就学相談会に係るケース会議	気仙沼市中央公民館
7月 8日	気に子どもの育ちと保育者支援	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月16日	障害福祉フォーラム	やすらぎ
7月28日	児童発達支援管理責任者基礎研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月29日	児童発達支援管理責任者基礎研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
8月 6日	発達障害者支援セミナー青年期以降の生きにくさと発達障害	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
8月10日	地域でつなぐ障害者支援	気仙沼保健福祉事務所
8月23日	発達障害児のアセスメント	気仙沼保健福祉事務所
8月24日	発達障害の特性を示す多様な児童生徒の理解と対応	気仙沼市中央公民館
9月15日	第2回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市中央公民館
9月25日	事例検討会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
10月 4日	第3回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市中央公民館
10月 5日	ディスレクシアの基礎知識	子ども総合センター（名取）
10月14日	発達障害のある当事者からのメッセージ	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
10月21日	コロナにおける安全基地	石巻合同庁舎
10月23日	時を生きる・地域に生きる子どもと家族を支える療育	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
10月25日	幼・保から高校卒業後までの切れ目のない支援にむけて	気仙沼中央公民館
10月27日	気仙沼市障害計画等推進委員会	ワンテン庁舎
11月 5日	保育施設におけるコロナ感染症対策	保健福祉事務所
11月 6日	睡眠障害への治療	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
11月 8日	ペアレント・プログラム県北支援者研修会	石巻合同庁舎
11月 9日	学齢期から成年期へのつなぎ方に関して感じている課題について	市民福祉センター「やすらぎ」
11月10日	障害児支援施策の動向	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
11月29日	第4回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市中央公民館
12月 7日	思春期・青年期における具体的な支援について	子ども総合センター（名取）
令和4年 1月 6日	児童福祉施設等における防犯講習会	ワンテン庁舎
1月12日	東北大小児科で培ってきた子育て支援のノウハウの地域への普及に関する検討会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
1月19日	ペアレント・メンター	松岩公民館
1月29日	神経発達症と睡眠障害	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月14日	ペアレント・プログラム新マニュアル勉強会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月15日	児童発達支援管理責任者更新研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月16日	児童発達支援管理責任者更新研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
3月22日	事業所・学校間の連携について	市民福祉センター「やすらぎ」
3月23日	令和3年度障害福祉サービス事業者等集団指導	松峰園（オンライン）

【成果】利用状況は、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業とも、ほぼ同じ在席人数で推移しています。気仙沼市マザーズホームの他2事業所で児童発達支援事業所がある状況の中で利用人数の変化がないことや放課後等デイサービスの利用児が年度途中から利用に繋がったりと活動内容が関係機関より評価されているためかと思います。今年度で3年目を迎える「保育所等訪問支援事業」は地域に定着し始め、利用希望者が増えてきています。「宮城県障害児等療育支援事業」において、「ペアレントプログラム」や「ペアレント・メンター派遣」事業実施し、保護者支援に取り組んできました。

【課題】児童発達支援事業での利用形態が様々で、途中入所の利用者も多く、活動内容の工夫等のほか、適切な支援を行うためにもより一層職員の質の向上を図ることが求められています。また、就労している家族が多く、預かりでの利用希望者や送迎サービスを希望する利用者も増え職員の負担も増えています。放課後等デイサービス事業でも、障害種別、年齢の幅にあった個々の対応が求められています。利用者の年齢の幅が広がり、同じ学校へ時間を変えて2度の送迎や事業所として提供している事業も増えた事で支援車両が足りず近隣施設から借用して対応しています。利用者の増加に伴う業務量の増加に対応するため、職員の体制整備が必要になっています。

【今後の取組】関係機関との連携も構築され、「保育所等訪問支援事業」や「宮城県障害児等療育支援事業」も地域に定着始め、療育の中核的役割が求められています。地域支援マネージャー配置のための人材配置を行います。保護者支援として「ペアレント・プログラム」の定期的な実施や実施者育成の為の支援に取り組んでいきます。Vineland-IIや遠城寺式発達検査などの発達検査などアセスメントツールを実施し支援の向上を図ります。

【決算】事業活動による収入 55,654,534円
その他の活動による収入 647,920円

事業活動による支出 36,947,617円
施設整備等による支出 560,120円
その他の活動による支出 17,019,184円
(基金への繰出16,000,000円含む。)
当期資金収支差額 1,775,533円

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができ、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に提供できるよう指定計画相談支援を行いました。

【事業実績】

月	新規契約者	実契約者	契約作成数		
			計画作成者数	更新	モニタリング
4	1	50	1	0	7
5	0	50	0	1	7
6	0	50	0	5	18
7	0	50	0	2	7
8	0	50	0	1	2
9	0	50	0	2	21
10	0	50	0	1	5
11	0	50	0	0	6
12	1	51	22	3	19
1	0	51	11	1	10
2	0	51	5	2	3
3	0	51	24	5	19
計	2	604	63	23	124
前年度	15	552	15	48	96

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月16日	第1回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
4月21日	個人防護具の着脱に関する研修会	中央公民館
5月14日	第2回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
6月18日	第3回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
8月10日	地域でつなぐ障害児者支援に関する研修会	宮城県気仙沼保健福祉事務所
8月20日	第5回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
9月17日	第6回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
10月15日	第7回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
12月17日	第9回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
12月22日	精神疾患を学ぶ研修会①	宮城県気仙沼保健福祉事務所
令和4年1月25日	精神疾患を学ぶ研修会②	オンライン研修
1月19日	ペアレントメンター研修会	松岩公民館
3月18日	第12回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ

【成果】気仙沼市から依頼を受け50件の計画、モニタリングを行い適切なサービス提供を行いました。松峰園の支援員と市、地域の関係機関と連携し問題を抱える利用者家族の支援を行いました。

（令和3年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度99.8% 前年度115.8%）

【課題】利用者本人、家族の高齢化に伴い、相談内容も複雑化しており。家族支援の介入が増加しています。高齢保護者には福祉サービスの制度自体の説明等が求められています。

【今後の取組】市障害福祉課、介護保険サービスや入所施設等への移行がスムーズに対応できるよう基幹相談支援センターとの連携し利用者支援を行います。

【決算】

事業活動による収入 2,240,800円

事業活動による支出 1,030,185円

当期資金収支差額 1,210,615円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	22	0	0	88	4.0
5	4	19	0	0	76	4.0
6	4	23	0	0	94	4.1
7	4	21	0	0	75	3.6
8	4	20	0	0	61	3.1
9	4	22	0	0	65	3.0
10	4	22	0	0	77	3.5
11	4	22	0	0	83	3.8
12	4	21	0	0	77	3.7
1	4	22	0	0	75	3.4
2	4	20	0	0	76	3.8
3	4	23	0	0	78	3.4
計	48	257	0	0	925	4.0
前年度	48	232	0	0	927	4.0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月9日	通院支援	市内
4月13日	検診支援	市内
5月7日	通院支援	市内
6月26日	避難訓練・余暇活動支援（買い物、喫食）	市内
7月2日	通院支援	市内
8月6日	通院支援	市内
8月10日	通院支援	市内
9月10日	世話人研修（感染症について）	松峰園内
9月10日、30日	通院支援	市内
10月15日、28日	通院支援	市内
11月11日、19日	通院支援	市内
12月9日、24日	通院支援	市内
12月22日	精神疾患を学ぶ研修会①	宮城県気仙沼保健福祉事務所
令和4年1月20日、28日	通院支援	市内
1月25日	精神疾患を学ぶ研修会②	オンライン研修
2月23日	避難訓練	ホーム内
3月4日	世話人研修（知的障害の特徴と退行について）	松峰園内

【成果】新型コロナウイルス感染予防に努めながら、保護者の要望に合わせ個別の宿泊を行うなどの対応を図りました。

（令和3年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度90.2% 前年度83.5%）

【課題】7月に入院した利用者は退院し、10月から本人の状態に合わせた利用を行っています。体調を見ながら通常利用ができるよう、保護者と連携し対応していきます。

【今後の取組】新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、松峰園の臨時開所に合わせ土日利用の支援を行い、利用日数の増加に努めます。

事業活動による収入 5,104,469円

事業活動による支出 5,363,826円

当期資金収支差額 △259,357円

（前期末支払資金から充当）

9. 居宅介護等事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	7	8	8	7	6	6	7	7	8	8	7	7	86	84
回	72	77	100	98	88	60	63	101	110	111	107	119	1,106	789

【成果】障害をもった利用者が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営めることができるよう、利用者の心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定し、適正なサービスの提供に努めました。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率 169.4% 前年度 99.0%) ※当初予算対比

【課題】事業所は休止となります。利用者については、他事業所への円滑な移行を図りました。

【今後の取組】本会においては本事業の経験を活かし、関連事業へのサービスの質の向上に取り組めます。

【決算】事業活動収入 6,989,070 円 事業活動支出 2,929,671 円
当期資金収支差額 4,059,399 円

(2) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	73	72
回	36	37	38	39	38	37	40	39	36	35	33	37	445	325

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	3	4	3	3	3	3	4	3	4	4	3	4	41	48
回	24	26	25	22	22	26	25	23	23	24	20	22	282	292

【成果】利用者ごとの症状や特徴を理解し、状態に合わせたサービス提供に努め、安全かつ快適な支援を心掛けました。緊急要請にも迅速に対応し、利用増に繋がりました。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率・居宅介護 100.9% 前年度 192.2%)

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率・同行援護 107.7% 前年度 80.5%)

【課題】施設入所等で同行援護の利用者2名が解約となりました。相談事業所には新規の情報提供を促しており、依頼があった際は迅速に対応します。単発利用や休止が続いている利用者には、定期的に声掛けし利用再開の対応策に取り組んでいます。

【今後の取組】関係機関との連携を密にし、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活ができるようサービス提供体制の整備に努めます。スタッフ会議では情報共有やケア会議の確認を行い、事故防止の徹底・新型コロナウイルス感染予防対策に取り組めます。

【決算】事業活動収入 5,081,710 円（居宅介護 3,012,580 円、同行援護 2,069,130 円）
 事業活動支出 4,735,000 円（居宅介護 2,971,000 円、同行援護 1,764,000 円）
 その他の活動支出 1,000,000 円（運用基金へ繰出 居宅、同行 各 500,000 円）
 当期資金収支差額 △653,070 円（居宅介護 △458,200 円、同行援護 △194,870 円）

（３）ヘルパーステーションもとよし

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	4	4	4	3	4	3	5	4	4	4	4	4	48	39
回	43	35	37	33	34	38	38	37	38	39	36	39	447	472

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	2	2	4	3	2	2	2	2	3	2	2	2	28	28
回	35	35	39	37	35	31	35	34	38	35	33	35	422	420

【成果】障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。関係機関との連携を密にし、本人や家族の不安を軽減するための助言やサービスを提供しました。また同行援護従事者が２名増となりニーズに合わせたサービス提供に努めました。今後も総合的に支援できる体制づくりに力を入れていきます。

（介護報酬目標額達成率・居宅介護 107.5% 前年度 45.0%）

（介護報酬目標額達成率・同行援護 108.7% 前年度 107.9%）

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、若手を含むヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。また、利用者のほとんどが独居世帯であり、地域や支援センターなどの関係機関との連携が不可欠です。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活できるように、一人ひとりのニーズに合わせた迅速かつ丁寧な質の高いサービス提供が図れるように関係機関との連携を密にし、職員間の意思疎通を徹底して体制の構築に努めます。感染症においても適切な予防策を講じながらサービス提供に努めます。

【決算】事業活動収入 3,950,350 円（居宅介護 1,601,620 円、同行援護 2,348,730 円）
 事業活動支出 3,952,340 円（居宅介護 1,570,000 円、同行援護 2,382,340 円）
 当期資金収支差額 △1,990 円（居宅介護 31,620 円、同行援護 △33,610 円）

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害をもつ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

(1) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7
回	9	8	7	9	9	8	9	9	8	8	8	8	100	50

【成果】唐桑地区の方1名のみの継続利用でしたが、本人家族の楽しみである入浴の時間を安心して過ごせるようサービス提供に努めました。昨年度のオペレーターは唐桑の職員が訪問していましたが、今年度は後半に同行を重ね、本吉職員でも対応できるようにしました。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率 102.5% 前年度 103.6%)

【課題】現在の利用者は1名ですが、提供体制を整備し周知活動を広げ、必要な方への支援を行います。

【今後の取組】利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との連携を密にしながら、チームケアに取り組みます。また、障害に関する各種研修会等に積極的に参加し、多様な障害に対応できるよう知識を深め、安心してご利用いただけるよう職員の資質向上に努めます。

【今後の取組】利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との連携を密にしながら、チームケアに取り組みます。また、障害に関する各種研修会等に積極的に参加し、多様な障害に対応できるよう知識を深め、安心してご利用いただけるよう職員の資質向上に努めます。

【決算】事業活動収入 1,250,000 円 事業活動支出 1,269,000 円 当期資金収支差額△19,000 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両貸出を行うことで、社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：18件 【成果】 通院や転院のためのレンタル利用が多くあります。定期的に利用される方もおり、費用面で助かっているという声をいただいています。 【課題】 移送利用がなく、運転ボランティアの必要はなかったものの、移送利用の対応ができる体制をつくる必要があります。 【今後の取組】 当面は貸出を中心としながら、社協だより等で事業を周知するとともに運転ボランティアの確保に努めます。 【決算】 289,168 円
在宅ふれあい型交流事業補助金交付事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象に会食及び配食、お茶のみ会等を実施する団体へ補助金を交付しました。 【実績】 申請団体数：8団体 延べ人数：509人 【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、会食など出来ない状況が続いていますが、感染対策を徹底しながら配食による交流を実施しています。また、令和3年度は、新規申請団体が1団体増えました。 【課題】 補助金対象となる活動が増えない状況が続いています。 【今後の取組】 ボランティア団体等が集う機会を捉え、コロナ禍だからこそ地域での繋がりが大切になることを伝えると共に、集い型事業だけでなく訪問型事業の提案に努めます。 【決算】 423,138 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回（月・水・金）配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：17人 利用延本数：1,222本 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。また、新規の利用は3名となっています。 【課題】 利用者不在時の対応や社協への連絡については、以前よりもタイムラグなく行われていますが、リアルタイムに連絡が入らないこともあります。また、民生委員等に本来の事業目的が理解されていないと感じます。 【今後の取組】 業者との連絡を密に取り合い、不在時等の対応について改善を目指します。また、事業の目的や利用方法等をわかりやすく明確にし、事業の理解促進と利用に繋がるよう社協だよりやホームページ、民生委員定例会において周知を図ります。 【決算】 39,914 円
介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】 所有する福祉用具の貸出により、要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や

	参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす 51台 ベッド 0台 唐桑 車いす 2台 ベッド 0台 本吉 車いす 20台 ベッド 0台 【成果】 通常の貸し出しの他、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の際に自宅から会場までの移動をサポートすることを目的に貸し出しを行い、多くの方にご利用いただきました。 【課題】 貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマッドレスとありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子以外の上記物品については、現在は貸し出せる状態にありません。 【今後の取組】 今後も継続して要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促します。 【決算】 220 円
--	---

事業名	内 容
生活支援型食事サービス	【概要】見守りを必要とする虚弱な高齢者の単身世帯等へ定期的に食事を提供することで、安否確認を行っています。毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しています。 【実績】 気仙沼地域 利用者：17人 配食数： 571食 唐桑地域 " : 2人 " : 177食 本吉地域 " : 22人 " : 628食 " 計41人 " 計1,376食 【成果】緊急対応となるケースはありませんでした。今年度より新規申請があった際に、ケア会議が実施されることになりました。これにより、サービスの適切な利用に繋がっています。 【課題】事業実施について、社協内で整理・検討する必要があります。 【今後の取組】社協内部で事業実施について検討します。また、市担当課と定期的に話し合いの場を設けます。 【決算】2,584,912円
生きがい活動支援通所事業 (元気老人デイサービス事業) 気仙沼・唐桑地区	【概要】おおむね65歳以上の高齢者を対象に、市民福祉センター、保健福祉センター及び地域の福祉施設、振興会館、公民館等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図ります。 【実績】 延利用回数 : 290回 延利用者数 : 3,963人 【成果】市民福祉センターやすらぎを拠点に、公民館等も利用しながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、各種集いと介護予防事業を実施しました。一年以上の長期に渡り休止している集いについては、講師や代表者等と相談しながら、利用者が心身ともに健康的な生活が送れるよう、フレイル予防や介護予防に関する啓発講座を実施し、利用者の心身状態に応じたストレッチ運動などを提供しました。 12月からすべての集いを再開し、直接利用者の様子を把握する事が出来るようになり、以前の心身状況との比較や把握に努めています。 また、集いの会場変更による感染対策への配慮と、利用者の体調不良等に対応できるよう職員を配置し安全対策に努めました。 【課題】福寿草以外の団体の会場使用により、毎回同一の会場が使用できない場合もあり、会場確保等職員と利用者相互の調整が課題です。送迎においても集い前日の声かけなど、個々に対応が必要な利用者も増えてきており、連絡体制の検討が必要です。

本吉地区	【今後の取組】集いが安定して開催され、高齢者の外出機会と仲間との交流を通し、フレイル予防や介護予防の一助となるよう、コロナ感染防止の取り組みを徹底しながら取り組みます。 【実績】 延利用回数 : 224回 延利用者数 : 2,639人 【成果】趣味活動や体操などの提供プログラムを充実させ、一人一人の生きがいづくりに繋がるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら事業を実施しました。 また、栄養士や理学療法士の指導、駐在所や交通指導隊など地域の協力を得て、専門的立場からの健康づくりと身近な生活上の留意点などの学びの機会を持ちました。 コロナウイルス蔓延防止による休止や、地域独自で自粛される際には体操や脳トレなどを配布し、フレイル予防を図りました。 【課題】昨年度に続きコロナ禍により、生きがい活動支援通所事業への参加以外においては外出や身体を動かす機会が減り、他者とのふれあいや会話も減っている状況にあり、感染症の動向をみながら更なる心身のリフレッシュと活性化を図っていくことが課題となっています。 また、老人クラブや地域でのお世話役を担う人材が減っている地域もあり、自主性が薄れている状況もあります。 【今後の取組】今後も利用者の希望や意向を取り入れ、地域の人材を活用しての介護予防や講話の時間を設け、健康で安心して生活が営めるよう支援します。 更に、3密回避等の対策を講じながら、地域のボランティアによるお楽しみ行事や趣向を変えての活動を取り入れ、新たな仲間づくりや地域の方々との交流により、相互に生きがいや喜びが感じられる機会も設定してまいります。 【決算】22,078,158円
家族介護教室事業	【概要】高齢者を介護している家族等に対し、介護者が求めるテーマに基づく家族介護教室の開催により要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】1回目 9月27日 参加者数8名 テーマ 「食べる幸せいつまでも」 ～おいしく食べて栄養をとるための工夫～ 講師 気仙沼市本吉総合支所保健福祉課 2回目 11月16日 参加者数10名 テーマ 「災害時の福祉用具の活用について」 講師 株式会社ニチイケアネット東北支社 【成果】今年度より本吉地域包括支援センターと共催し、講師を含めて

	事前打ち合わせを行うことにより、参加者にとってより役立つ講義内容として開催することができました。 【課題】 公民館を会場として借用しましたが、コロナ禍で使用条件が変わり当日の会場準備に時間を要したことから、今後は事前確認を徹底して対応します。 【今後の取組】 参加者に協力頂いたアンケート内容を基に、関心の高いテーマを取り上げ、参加者にとって有意義な教室になるよう努めるとともに、より多くの人に参加できるように周知方法を検討していきます。 【決算】 41,207 円
外出支援サービス事業	【概要】 リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 13 人（実利用者 1 人） 延利用回数 32 回（自宅から目的地までの片道を 1 回で集計） 【成果】 リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 【課題】 気仙沼市との協議により、現状登録されている利用者 1 名分の対応を継続することになっていますが、市の車両が老朽化により、使用できない状況にあり、本所にある社協車両を使用して対応することで、時間が掛り増している状況にあります。 【今後の取組】 市と確認を取り合いながら、関係する法令を遵守し業務を遂行していきます。 【決算】 75,942 円
生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区社協圏域ごとに担当職員（地域支え合い推進員）を専任配置し、支え合いの地域づくりに取り組みました。 【実績】 ・第 1 層地域支え合い推進員（兼任 1 名）活動件数 635 件 ・第 2 層地域支え合い推進員（専任 9 名）活動件数 6,397 件 ・社協だよりによる、地域活動「お宝」の発信 ・支え合いだよりの作成・発行 ・あづまっページ追加版の作成・発行 ・地区住民懇談会 3 地区社協 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業 【指定】 2 年目 ・上地区社会福祉協議会 2 年目 ・鹿折地区社会福祉協議会 ・地域支え合い推進員連絡会議開催 12 回 【成果】 地域支え合い推進員専任配置の初年度でありましたが、地域の

	キーパーソンや集い等への訪問・事業説明等、地域に出向く機会が増えました。また、コロナ禍で活動自粛の地区が多いなか、情報提供を行いながら、次に繋がるよう働き掛けを行いました。フレイル予防講座等へも随時協力しながら様々な機会を捉え地域との繋がりづくりに努めました。地域支え合い協力員は15人体制になりました。 【課題】コロナ禍で、地域活動や状況も様々な中、支え合いの活動の維持や再開・提案の仕方等、その地域に合わせた関わりを進めていくためのスキルアップが必要です。また、今年度新規のモデル地区社協指定には至りませんでした。 【今後の取組】住民主体の意識の醸成や活動が生まれるよう、研修会の開催や広報誌による活動の可視化などに引き続き取り組みながら、地域課題の解決に向けて働きかけを行い、地域に寄り添いながら支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。 【決算】28,858,888 円
--	---

1 2. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適切なサービス提供に努めました。また、加算取得に当たっても法令遵守に基づき職員間で相互牽制・チェックにより介護報酬の適正請求を行いました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	10	30	32	34	14	17	4	101	131
5	人	1	10	30	31	36	15	16	3	101	131
6	人	1	9	31	31	37	15	15	3	101	132
7	人	1	9	30	34	33	14	17	3	101	131
8	人	1	9	29	33	37	14	16	3	103	132
9	人	1	11	32	32	37	16	15	3	103	135
10	人	0	11	28	35	32	15	15	3	100	128
11	人	0	10	27	36	33	17	13	4	103	130
12	人	0	11	28	35	33	17	11	4	100	128
1	人	0	11	27	33	32	17	11	4	97	124
2	人	0	10	26	33	31	18	12	3	97	123
3	人	0	7	22	34	27	16	11	3	91	113
計	人	6	118	340	399	402	188	169	40	1,198	1,538
前年度	人	12	139	267	418	392	211	218	79	1,355	1,773

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和3年8月5日	宮城県ケア協会の気仙沼支部リモート研修会 (Zoomによるリモート)	一景島在介事務所
8月10. 18. 21. 26日	介護支援専門員更新研修Ⅱ (Zoomによるリモート)	本所ミーティングルーム
9月8日	介護サービス事業者集団指導 (資料受講方式・市ホームページ)	一景島在介事務所
9月14日	ケアマネミーティング (Zoomによるリモート)	一景島在介事務所
9月29日	宮城県ケア協会の気仙沼支部リモート研修会 (Zoomによるリモート)	一景島在介事務所
10月19日	第1回気仙沼市権利擁護研修会	ワンテン庁舎 交流室
11月16日	居宅介護支援事業所共同事例検討会 (Zoomによるリモート)	一景島在介事務所
12月2日	介護支援専門員実務研修実習指導者研修 (Zoomによるリモート)	本所ミーティングルーム
12月22日	精神疾患を学ぶ研修会	気仙沼保健福祉事務所
2月14日	居宅介護支援専門員連絡会	ワンテン庁舎 交流室
その他	※定期的 (毎月) に全職員による内部研修会、ケース検討会を開催	

【成果】日増しに高齢者を取り巻く環境が変化し、在宅より施設入所の流れがここ数年は顕著に見られます。また、独居世帯や高齢夫婦世帯の増加もあり年々困難事例が増えていますが、関係機関やサービス事業者との連携・連絡を密に図りながら、丁寧な対応に努めました。

(令和3年度 介護報酬目標達成度 (当初予算対比) : 87.9% 前年度 : 83.8%)

【課題】職員体制が変わることで、これまでの加算取得に影響が出ます。事業所として収入も大きく影響があり、減収は避けられない状態です。

【今後の取組】複雑化する制度や基準に的確な対応ができるよう、職員一人ひとりが資質向上と自己研鑽に取り組みます。

また、積極的に新規利用者の確保・獲得に努めながら、利用者の方々にも効果的なケアプランの作成を行い、少しでも増収に結びつくよう一丸となり業務に精励します。

【決算】 事業活動収入	23,203,580 円	事業活動支出	18,241,149 円
		その他の活動支出	3,116,660 円
		(運用基金積立金への繰出含む)	
		当期資金収支差額	1,845,771 円

(2) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	9	25	34	43	19	21	15	9	107	141
5 人	9	24	33	50	20	23	16	8	117	150
6 人	12	23	35	50	22	22	15	10	119	154
7 人	12	22	34	46	24	25	16	10	121	155
8 人	11	22	33	42	22	25	15	10	114	147
9 人	11	22	33	43	24	28	16	10	121	154
10 人	11	22	33	43	22	27	16	11	119	152
11 人	11	25	36	41	21	26	17	11	116	152
12 人	12	24	36	44	24	23	18	9	118	154
1 人	11	23	34	42	22	23	18	10	115	149
2 人	12	22	34	43	22	22	20	10	117	151
3 人	11	23	34	42	23	22	21	10	118	152
計	132	277	409	529	265	287	203	118	1,402	1,811
前年度	92	329	421	476	285	259	198	139	1,357	1,778

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月20日	個人防護具の着脱に関する研修会	気仙沼公民館
5/12～6/7(8日間)	令和3年度主任介護支援専門員更新研修(オンライン)	事業所内相談室
6月16日	地域包括ケア時代の在宅医療・多職種連携 脱水対策(オンライン)	事業所内相談室
7月7日	職員スキルアップ研修会「虐待防止研修」	はまなすホール
7月9日	床ずれ対策webセミナー(オンライン)	事業所内相談室
8月5日	宮城県ケアマネ協会気仙沼支部研修(オンライン)	事業所内相談室
6月25日、7月12日	地域ケア会議	本吉支所地域活動室
9月1日	集団指導(オンライン)	事業所内
9月29日	CM協会気仙沼支部「コロナウイルスの理解、対応」リモート	本吉支所地域活動室
10月5日	介護事業所の横のつながりセミナー Zoom	事業所内相談室
10月19日	気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所ワンテン庁舎
11月4日	気仙沼地域医療・介護連携講演「認知症において人となりを知る」	本吉支所地域活動室
11/26・30	感染症の正しい理解と対応、介護崩壊を防ぎ生活を取り戻す	本吉支所地域活動室
12月3日	令和3年度介護支援専門員実務研修指導者研修(オンライン)	事業所内相談室
12月22日	令和3年度保健・医療・福祉等支援者向け「精神疾患」研修会	気仙沼保健福祉事務所
1月18日	令和3年度居宅介護支援専門員研修会(オンライン)	事業所内
2/2～24日(3日間)	介護支援専門員実務研修実習受入(オンライン)	事業所内
毎月1回	ケアマネ定例会	本吉支所地域活動室
毎週1回	事例検討、伝達会議	事業所内
毎月1回	職員会議	事業所内
毎月1回	本吉支所定例会議	本吉支所地域活動室

【成果】10月よりパート職員が入局したことで新規利用者を受入れしやすい状態となり、加算も含め居宅支援費に反映されています。最近の傾向として末期癌の急激な体調悪化による介護申請と早急なサービス調整が必要な方や、50代60代の第二号被保険者の利用者也増えている状況です。

以前に比べ医療との連携が取りやすくなっており、病状の確認や注意事項など利用者や家族も安心して生活でき、介護できる体制がとれるようになりつつあります。

(令和3年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比): 99.6% 前年度: 94.2%)

【課題】老々介護や認知症で独居の方、認知症で理解力の低い家族との同居など、様々な環境を踏まえた上での支援が必要になっています。新型コロナウイルス感染拡大防止により外出を控えなくてはならない状況となり、近隣との行き来や遠方からの家族や支援者等の来訪者も少なくなっているため、他者との関わりがかなり減少した人も多く見受けられ、認知機能や筋力の低下が懸念されます。利用者や家族など関わる人が陽性者となってしまう場合、介護保険で受けられるサービスがないことも踏まえて調整する大変さがあります。

【今後の取組】職員自らの感染対策をしっかりと行っていきます。様々な生活環境で過ごされている利用者に対し、インフォーマルな支援が受けられるよう確認しながら進めていきたいと思えます。自立支援を念頭に「頼んで良かった」と思ってもらえるよう信頼関係の構築に努めていきます。

居宅介護のプロセスに沿って基本に忠実に業務を進め、特定事業所加算の意味も考慮し、安定した収入確保に向けて取り組みます。

【決算】事業活動収入	27,559,660 円	事業活動支出	19,025,670 円
		施設整備等支出	0 円
		その他の活動による支出	6,449,180 円
		(運用基金への繰出5,000,000円)	
		当期資金収支差額	2,084,810 円

(3) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【概要】要介護又は要支援にある利用者が、住み慣れた地域や自宅で、自分らしく安心して生活できるように、適切な訪問介護計画を策定し、利用者やその家族等からの評価によるサービスの見直しを図ることで、よりきめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

事業対象者												
月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	3	9	12	6	5	3	3	1	18	30
	回	0	27	66	93	52	93	42	40	17	244	337
5	人	0	3	9	12	5	7	2	3	1	18	30
	回	0	26	69	95	41	103	34	30	4	212	307
6	人	0	3	9	12	3	6	2	2	0	13	25
	回	0	24	68	92	26	89	21	17	0	153	245
7	人	0	3	9	12	5	7	2	2	0	16	28
	回	0	28	69	97	33	107	17	17	0	174	271
8	人	0	2	9	11	6	6	2	2	0	16	27
	回	0	17	67	84	45	106	7	16	0	174	258
9	人	0	2	8	10	6	6	2	2	0	16	26
	回	0	18	56	74	44	103	11	17	0	175	249
10	人	0	2	8	10	5	6	2	2	0	15	25
	回	0	17	64	81	40	105	15	18	0	178	259
11	人	0	2	8	10	5	7	2	1	0	15	25
	回	0	17	63	80	42	123	13	12	0	190	270
12	人	0	2	8	10	6	8	2	1	0	17	27
	回	0	17	64	81	40	124	10	13	0	187	268
1	人	0	1	8	9	5	7	2	1	0	15	24
	回	0	9	70	79	41	117	8	16	0	182	261
2	人	0	1	10	11	4	9	2	1	0	16	27
	回	0	8	77	85	43	109	13	3	0	168	253
3	人	0	1	10	11	3	9	2	0	0	14	25
	回	0	9	87	96	24	107	11	0	0	142	238
計	人	0	25	105	130	59	83	25	20	2	189	319
	回	0	217	820	1,037	471	1,286	202	199	21	2,179	3,216
前年度	人	6	39	104	149	48	48	30	74	10	210	359
	回	19	318	789	1,126	450	675	649	1,491	287	3,552	4,678

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和3年4月21日	個人防護具の着脱に関する研修会	気仙沼中央公民館
7月25日	令和3年度介護施設等感染症対策研修事業（感染症管理認定看護師による感染症対策訪問助言）研修会	市社協第二会議室
9月22日	介護サービス事業者集団指導（資料受講方式・市ホームページ動画視聴）	ヘルプサービス事務所
10月21日	リスクマネジメント（ヒヤリハット）に係る内部研修	ヘルプサービス事務所
11月26日	個人情報漏洩・プライバシー侵害に係る内部研修	ヘルプサービス事務所
12月21日	ヘルパーの調理・掃除に係る内部研修	ヘルプサービス事務所
令和4年1月21日	防護服の着脱に係る内部研修	ヘルプサービス事務所
2月25日	身体拘束に対する考え方に係る内部研修	ヘルプサービス事務所
3月26日	パワーハラスメントに係る内部研修	ヘルプサービス事務所
その他	※定期的（毎月）に全職員による内部研修会、ケース検討会を開催	

【成果】令和3年度は利用者の相次ぐ死亡と施設入所が続き大幅な利用減少と収入の落ち込みが続きました。また、年度後半では職員の退職もあり次年度以降の体制もとれないことから、法人内での事業所統合を図り、気仙沼市ホームヘルプサービス事業所として休止をする結論に至りました。

（令和3年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：64.4% 前年度：104.6%）

【課題】法人内での事業所統合により、希望された利用者の方々には引き続きサービスを提供していきます。事業としては休止の扱いではありますが、再開するメドは立たないの現状と思われます。

【今後の取組】これまでサービス提供を受けていた方々が、移行先の事業所でも安心して生活を送ることができるよう、人事異動となった職員を中心とし引継ぎに努め、職場内でもお互いに事業所間の利用者の情報共有を図り、より満足されるサービス提供を図ります。

【決算】事業活動収入 15,198,666 円 事業活動支出 24,158,850 円
 その他の活動収入 3,751,320 円 当期資金収支差額 △ 5,208,864 円
 （前期末支払金資金残高から充当）

(4) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ち、質の高いサービスを提供するように努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	事業対象者	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	3	8	1	12	6	7	4	7	2	26	38
	回	10	71	4	85	38	107	102	180	46	473	558
5	人	3	7	0	10	5	7	4	7	2	25	35
	回	12	42	0	54	26	109	105	191	48	479	533
6	人	2	9	0	11	4	9	4	7	2	26	37
	回	10	41	0	51	16	132	94	139	44	425	476
7	人	2	9	1	12	3	10	4	4	2	23	35
	回	8	55	5	68	14	139	101	82	49	385	453
8	人	2	8	1	11	3	10	4	3	1	21	32
	回	8	51	3	62	10	145	80	80	44	359	421
9	人	3	8	1	12	4	10	3	4	1	22	34
	回	11	57	2	70	18	143	64	65	44	334	404
10	人	1	6	1	8	7	11	2	3	3	26	34
	回	4	38	3	45	43	157	62	91	103	456	501
11	人	2	8	1	11	7	10	1	3	4	25	36
	回	9	39	4	52	39	133	50	65	153	440	492
12	人	2	6	1	9	6	11	2	2	3	24	33
	回	7	39	4	50	33	148	56	56	137	430	480
1	人	2	7	1	10	6	9	4	2	2	23	33
	回	7	40	1	48	37	86	115	58	78	374	422
2	人	2	6	1	9	5	6	3	3	2	19	28
	回	6	36	2	44	28	41	78	58	68	273	317
3	人	2	6	1	9	6	6	3	4	2	21	30
	回	9	41	4	54	44	45	72	85	86	332	386
計	人	26	88	10	124	62	106	38	49	26	281	405
	回	101	550	32	683	346	1,385	979	1,150	900	4,760	5,443
前年度	人	16	94	12	122	27	58	9	58	62	214	336
	回	63	777	24	864	370	1,127	195	2,416	1,810	5,918	6,782

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年9月15日	令和3年度介護サービス事業者集団指導	社協唐桑支所（オンライン）
	スタッフ会議（月1回）支所管理者会議（月1回）	社協唐桑支所

【成果】モニタリング等で利用者と家族から定期的に聴き取りを行い、必要なサービスの追加を提案し利用増に結びました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、従来の研修が未開催となっているため、職員間の事業所研修強化に取り組みました。

（令和3年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：85.7% 前年度：93.7%）

【課題】職員の人員確保が難しいため、利用者の希望時間に応えられない場合もありました。介護度が重くなるほど家族の負担が大きくなり、施設入所を希望する傾向にあります。

【今後の取組】地域や多職種と連携を図り、安心して在宅生活が継続できるように支援します。また目標を策定し、職員間の連携を図りながら良質なサービス提供に取り組みます。

【決算】事業活動収入	20,603,710円	事業活動支出	14,716,323円
		その他の活動による支出	3,840,104円
		（運用基金事業への繰出3,500,000円含）	
		当期資金収支差額	2,047,283円

(5) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

【事業実績】												
月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	2	8	10	19	8	3	10	4	44	54
	回	0	8	50	58	177	120	39	281	114	731	789
5	人	0	2	7	9	19	9	3	10	4	45	54
	回	0	14	40	54	193	127	42	248	115	725	779
6	人	0	3	7	10	15	12	3	8	4	42	52
	回	0	15	44	59	165	133	44	261	107	710	769
7	人	0	3	7	10	12	12	4	8	4	40	50
	回	0	18	43	61	123	124	55	271	117	690	751
8	人	0	3	8	11	8	9	4	7	4	32	43
	回	0	15	42	57	83	99	93	270	109	654	711
9	人	0	2	9	11	9	7	4	8	4	32	43
	回	0	13	48	61	87	85	83	243	116	614	675
10	人	0	2	9	11	9	6	4	9	6	34	45
	回	0	14	51	65	83	57	96	255	176	667	732
11	人	2	2	2	6	8	6	4	9	6	33	39
	回	12	12	12	36	81	54	89	254	176	654	690
12	人	1	1	10	12	9	6	2	9	6	32	44
	回	5	5	52	62	88	58	50	258	152	606	668
1	人	0	1	10	11	9	10	2	10	7	38	49
	回	0	3	54	57	87	74	47	214	172	594	651
2	人	1	1	8	10	8	9	3	10	8	38	48
	回	2	4	43	49	64	76	55	179	180	554	603
3	人	1	2	7	10	9	11	2	10	8	40	50
	回	2	9	45	56	69	136	48	243	204	700	756
計	人	5	24	92	121	134	105	38	108	65	450	571
	回	21	130	524	675	1,300	1,143	741	2,977	1,738	7,899	8,574
前年度	人	0	38	96	134	141	94	25	130	65	455	589
	回	0	196	587	783	1,014	1,416	347	3,901	1,353	8,031	8,814

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年 6月14日	口腔ケアの重要性とその効果	宮城県介護研修センター
7月 5日	ボディメカニクスと安心・安全な介護	宮城県介護研修センター
7月 7日	権利擁護と虐待対応	はまなすホール
8月 2日	施設賠償からみたリスク管理	宮城県介護研修センター
10月13日	実例で考える介護術(研修係主催)	内部研修(地域福祉活動室)
11月 4日	気仙沼地域医療・介護連携研修会『認知症医療介護の連携』(オンライン)	本吉支所地域福祉活動室
11月18日	新型コロナウイルス感染症対策と両立させるコミュニケーション術(web研修)	内部研修(地域福祉活動室)
11月30日	令和3年度感染症予防web研修	本吉支所地域福祉活動室
	事業所内会議：職員会議、伝達研修(訪問介護合同で毎月開催)	

【成果】新規受入れについては常に状況を把握し、受け入れ可能な時間帯を相談の上、断ることなくサービスを提供することができました。安心・安全な質の高い確かな知識と介護技術を提供するため、職員間の情報共有を常に行い、不安なく訪問できるように同行訪問の機会を増やして対応しました。他事業所とも情報共有を図り、連携をとりながら対応しました。

(令和3年度 介護保険報酬目標達成度(当初予算対比) : 104.9% 前年度 : 97.1%)

【課題】職員の半数が再雇用であることから体調管理を常に心がけ、無理のない体制を整え仕事内容や資質も考慮しながら継続雇用を検討していくことも必要です。資格取得に向けた研修へ積極的に参加できる体制も整えられるよう工夫していきます。

【今後の取組】今後もニーズに合わせた確かな知識と、質の高い介護サービスを提供できるよう研修会に積極的に参加し、情報共有を密にしたチームケアができるよう全職員で連携を図りながら取り組んでいきます。職員の意識を高めながら、新規利用者確保に向けて事業所の周知活動を行い、安定した経営ができるよう努めます。

【決算】事業活動収入 36,668,333円

事業活動支出 28,534,658円
 その他の活動による支出 2,750,336円
 当期資金収支差額 5,383,339円

(6) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	3	3	1	3	4	9	7	24	27
	回	0	11	11	5	15	17	39	39	115	126
5	人	0	2	2	1	3	5	10	6	25	27
	回	0	7	7	4	15	28	39	40	126	133
6	人	0	2	2	1	4	6	11	7	29	31
	回	0	9	9	3	15	34	45	37	134	143
7	人	0	2	2	0	4	6	12	6	28	30
	回	0	9	9	0	16	30	45	40	131	140
8	人	0	2	2	0	3	7	11	5	26	28
	回	0	9	9	0	18	39	49	36	142	151
9	人	0	2	2	0	3	7	9	5	24	26
	回	0	8	8	0	16	36	42	30	124	132
10	人	0	2	2	0	2	6	11	5	24	26
	回	0	6	6	0	13	31	46	28	118	124
11	人	0	1	1	0	2	7	8	5	22	23
	回	0	2	2	0	12	38	40	32	122	124
12	人	0	0	0	0	2	7	9	7	25	25
	回	0	0	0	0	13	34	42	37	126	126
1	人	0	0	0	0	2	6	10	6	24	24
	回	0	0	0	0	5	28	41	30	104	104
2	人	0	0	0	0	1	6	9	7	23	23
	回	0	0	0	0	4	29	37	37	107	107
3	人	0	0	0	0	1	3	10	7	21	21
	回	0	0	0	0	4	22	50	49	125	125
計	人	0	13	16	3	30	70	119	73	295	311
	回	0	53	61	12	146	366	515	435	1,474	1,535
前年度	人	0	24	24	4	34	41	103	107	289	313
	回	0	104	104	10	148	176	464	640	1,438	1,542

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年 6月14日	口腔ケアの重要性とその効果	宮城県介護研修センター
7月 5日	ボディメカニクスと安心・安全な介護	宮城県介護研修センター
7月 7日	権利擁護と虐待対応	はまなすホール
8月 2日	施設賠償からみたリスク管理	宮城県介護研修センター
10月13日	実例で考える介護術(研修係主催)	内部研修(地域福祉活動室)
11月 4日	気仙沼地域医療・介護連携研修会『認知症医療介護の連携』(オンライン)	本吉支所地域福祉活動室
11月18日	新型コロナウイルス感染症対策と両立させるコミュニケーション術(web研修)	内部研修(地域福祉活動室)
11月30日	令和3年度感染症予防web研修 事業所内会議：職員会議、伝達研修(訪問介護合同で毎月開催)	本吉支所地域福祉活動室

【成果】年間を通し終末期の方や急な状態変化によるADL低下した方などの新規依頼にも迅速に対応し、単発(1回～数回)ではあるものの利用いただけただ事で実績に反映されました。医療依存度の高い方も多い状況ですが、医療スタッフや他事業所との連携、職員間での情報共有をしっかりと行い安心して心地良い時間を過ごしていただけるようなケアに努めました。

また、感染対策や体調管理を徹底しながら業務に従事しました。

(令和3年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比):100.7% 前年度:98.2%)

【課題】秋頃から冬季間に入所や入院、逝去された方が多く、その後の新規依頼が少なかったことで例年以上に稼働率が減少しましたが、新規利用に向けて職員皆で意識しながら周知活動を行ったことで3月は件数増加となりました。

【今後の取組】入浴サービス事業所のない歌津地域も範囲に加え実施しており、今後もニーズがあることを予測し、気仙沼地域同様に積極的な周知活動に努めます。

また、職員の年齢上昇に伴う身体面も考慮し、ミスのないよう更なる確認の徹底と介護技術などの向上を図ってまいります。

【決算】事業活動収入	22,897,168円	事業活動支出	23,195,642円
その他の活動収入	600,000円	その他の活動支出	1,068,900円
		当期資金収支差額	△767,374円
		(前期末支払資金残高から充当)	

(7) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	9	15	24	23	18	9	13	2	65	89
	回	44	119	163	201	172	74	124	14	585	748
5	人	9	15	24	25	21	8	13	2	69	93
	回	34	102	136	196	182	56	117	16	567	703
6	人	9	13	22	25	22	6	12	2	67	89
	回	43	105	148	201	213	58	108	17	597	745
7	人	10	13	23	25	22	7	11	2	67	90
	回	53	115	168	242	209	56	111	17	635	803
8	人	10	13	23	25	22	7	11	1	66	89
	回	48	109	157	233	198	51	114	9	605	762
9	人	10	14	24	24	26	7	10	2	69	93
	回	51	113	164	203	226	57	88	13	587	751
10	人	10	14	24	26	24	6	12	3	71	95
	回	46	115	161	204	236	50	95	22	607	768
11	人	9	14	23	25	24	6	12	3	70	93
	回	45	116	161	184	221	49	85	23	562	723
12	人	8	13	21	25	24	6	10	4	69	90
	回	40	111	151	192	224	49	88	27	580	731
1	人	9	13	22	22	21	7	11	3	64	86
	回	44	101	145	171	198	48	78	16	511	656
2	人	8	13	21	23	21	7	11	1	63	84
	回	39	95	134	173	191	44	85	7	500	634
3	人	8	13	21	23	19	6	13	1	62	83
	回	37	114	151	188	182	46	100	7	523	674
計	人	109	163	272	291	264	82	139	26	802	1,074
	回	524	1,315	1,839	2,388	2,452	638	1,193	188	6,859	8,698
前年度	人	94	228	322	314	200	140	152	17	823	1,145
	回	457	1,556	2,013	2,896	1,778	1,152	1,313	132	7,271	9,284

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年		
9月10日	集団指導（通所系）オンライン配信動画指導	燦さん館
9月13日	高齢者の虐待防止と権利擁護	鹿島台
10月21日	2021年介護講座「感染予防と対策」	鹿島台
10月27日	令和3年度 気仙沼市 唐桑町防火管理者 事業所指定訓練 (気仙沼消防署唐桑出張所)	気仙沼市 唐桑

【成果】

- ・三陸道開通の利便性を活用し、送迎の可能な限り利用幅を広げ、利用者の希望通りの利用を可能とし、収益増につなげました。

(令和3年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：91.0% 前年度：97.8%)

【課題】

- ・延べ利用者人数前年比94%（－586人）と依然としてショートステイ、入所、入院、体調不良、退去が後を絶たず、新規契約、追加利用ではカバーできない状態となっております。

【今後の取組】

- ・引き続き、介護・車輛事故が発生しないよう職員一同取り組みます。
- ・さらなる利用者確保のため、曜日変更・臨時利用・通院後の利用を継続しながら居宅介護支援事業所への空き情報の提供、各関係機関との情報交換を密に行い、利用者情報を収集して利用者増につなげます。
- ・コスト、経費の削減に職員一同取り組みます。

【決算】事業活動収入	69,696,775円	事業活動支出	76,983,573円
その他の活動収入	8,951,436円	施設整備等支出	1,855,776円
		その他の活動支出	1,666,984円
		当期資金収支差額	△1,858,122円
			(前期末支払資金残高から充当)

(8) やすらぎデイサービスセンター

【概要】いつまでも在宅生活を続けられるように身体機能維持及び生活の質の向上ができる介護サービスを提供しました。デイサービスを利用することによる他者との交流を通じて生きがいを持ち生活できるよう職員一人ひとりが笑顔で支え、家族の身体的及び精神的な負担軽減を支えるサービス提供を行うことを念頭に職員全員が介護に従事しました。

【事業実績】

【事業実績】		m										
月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	1	4	5	10	17	12	7	7	3	46	56
	回	5	21	34	60	156	104	62	43	37	402	462
5	人	1	4	5	10	18	12	8	9	2	49	59
	回	4	20	35	59	159	100	59	51	34	403	462
6	人	1	3	6	10	18	12	7	7	2	46	56
	回	4	18	34	56	159	110	73	57	34	433	489
7	人	1	3	6	10	19	11	8	7	2	47	57
	回	5	16	39	60	185	98	83	46	36	448	508
8	人	1	3	7	11	20	10	8	6	2	46	57
	回	4	15	37	56	173	80	77	46	35	411	467
9	人	1	3	6	10	19	9	8	6	2	44	54
	回	5	19	31	55	177	79	68	43	35	402	457
10	人	1	3	5	9	23	9	8	6	1	47	56
	回	4	16	29	49	194	70	44	49	25	382	431
11	人	1	3	5	9	23	9	6	7	1	46	55
	回	4	16	29	49	196	68	49	63	26	402	451
12	人	1	3	4	8	23	9	10	7	1	50	58
	回	5	16	15	36	181	69	69	62	26	407	443
1	人	1	3	4	8	20	8	11	5	1	45	53
	回	3	16	15	34	152	65	88	57	24	386	420
2	人	1	3	4	8	18	8	11	8	1	46	54
	回	4	12	17	33	148	58	87	66	24	383	416
3	人	1	2	4	7	22	7	10	9	1	49	56
	回	4	10	16	30	189	41	75	84	27	416	446
計	人	12	37	61	110	240	116	102	84	19	561	671
	回	51	195	331	577	2069	942	834	667	363	4875	5452
前年度	人	7	58	64	129	178	120	75	103	39	515	644
	回	23	276	387	686	1,109	937	430	623	510	3,609	4,295

【研修・会議参加状況】

月 日	主な会議・研修	開催場所
令和3年5月12日	第1回職員会議	やすらぎデイホール
6月16日	第2回職員会議	やすらぎデイホール
7月21日	第3回職員会議	やすらぎデイホール
8月18日	第4回職員会議	やすらぎデイホール
9月15日	第5回職員会議	やすらぎデイホール
10月20日	第6回職員会議	やすらぎデイホール
11月17日	第7回職員会議	やすらぎデイホール
12月15日	第8回職員会議	やすらぎデイホール
令和4年1月20日	第9回職員会議	やすらぎデイホール
2月17日	第10回職員会議	やすらぎデイホール
	その他、伝達研修を実施	やすらぎデイホール

【成果】職員の増員と車両が増えたことにより、新規利用者の受入範囲が広がり、受入を積極的に行った結果、利用者・収入共に増加となりました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・家族から協力を頂き、マスク着用の徹底や定期的に検温・換気・備品等の消毒を行ない、レク活動の制限を行ないながら感染防止に努めてきました。

(令和3年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) : 100.7% 前年度 : 94.6%)

【課題】入院や施設入所が相次ぎ、追加利用や新規利用者の受入が間に合わずに減収となる月がありました。また、施設の備品や車両・設備等にも不具合が生じております。

【今後の取組】引き続き、各居宅へ定期的に訪問に加え、情報交換を更に強化し、新規の利用者を確保できるよう努めます。また、サービスの質の向上を常に念頭に置き、利用して頂いた利用者に満足して頂けるよう、職員の質の向上を目指します。

【決算】事業活動収入	44,756,686円	事業活動支出	44,537,855 円
その他の活動収入	3,706,414円	その他の活動支出	1,077,804 円
(運用基金から3,000,000円)		当期資金収支差額	2,847,441 円

(9) 大谷デイサービスセンター

【概要】新型コロナウイルスに関する情報を収集し日々計測や消毒を行い、利用者及び家族の理解と協力を得ながら感染防止に努めました。また、利用者の状態把握に努め、介護者や居宅支援事業所等と連携を取りながら日々の支援に生かしました。例年と異なり地域交流の機会が減少しましたが、大谷幼稚園や大谷小学校とは間接的交流にてつながりを継続することができました。

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	6	7	16	5	8	2	0	31
	回	8	40	48	160	50	50	6	0	266
5	人	1	7	8	16	5	7	2	0	30
	回	8	44	52	160	55	49	9	0	273
6	人	1	8	9	16	5	8	3	0	32
	回	8	45	53	149	52	47	9	0	257
7	人	1	7	8	13	5	8	4	0	30
	回	8	47	55	144	55	51	25	0	275
8	人	1	8	9	12	8	7	4	0	31
	回	7	42	49	126	72	49	20	0	267
9	人	1	9	10	12	7	8	4	0	31
	回	8	56	64	118	73	49	22	0	262
10	人	1	11	12	12	7	9	4	0	32
	回	8	64	72	127	81	56	22	0	286
11	人	1	12	13	11	8	9	5	0	33
	回	4	70	74	104	84	64	44	0	296
12	人	1	12	13	12	9	9	5	0	35
	回	4	67	71	105	79	62	42	0	288
1	人	1	10	11	11	10	9	4	0	34
	回	2	62	64	91	91	55	30	0	267
2	人	1	9	10	11	10	11	3	0	35
	回	4	54	58	86	77	53	31	0	247
3	人	1	10	11	11	8	11	3	0	33
	回	5	64	69	111	70	66	34	0	281
計	人	12	109	121	153	87	104	43	0	387
	回	74	655	729	1,481	839	651	294	0	3,265
前年度	人	9	105	114	192	69	83	24	7	375
	回	30	615	645	1,644	778	524	103	62	3,756

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月19日	接遇研修について	大谷デイサービスセンター
5月28日	新型コロナウイルス感染症対策について	大谷デイサービスセンター
6月18日	運営推進会議	文書での報告
6月25日	安全運転研修	大谷デイサービスセンター
7月27日	虐待防止研修会	大谷デイサービスセンター
8月20日	認知症研修	大谷デイサービスセンター
8月26日	社協が実施する通所介護の経営を考える	オンライン 本吉支所
9月25日	認知症研修	大谷デイサービスセンター
9月25日	集団指導	Web研修
10月5日	新型コロナの今だからこそ介護事業所の横のつながりセミナー	ZOOM 津谷居宅支援事業所
10月8日	事業所参加型事例発表会	ZOOM 本吉支所
10月25日	嘔吐物の処理について	大谷デイサービスセンター
10月26日	地域ケア会議	本吉支所
11月4日	気仙沼地域医療・介護連携研修会	ZOOM 本吉支所
11月25日	ひやりはっとの活用について	大谷デイサービスセンター
12月23日	苦情解決研修	大谷デイサービスセンター
令和4年1月25日	認知症研修	大谷デイサービスセンター
1月27日	ケアニン 上映会	本吉支所
2月23日	運営推進会議の結果について 意見交換会	大谷デイサービスセンター
3月22日	認知症利用者へのアプローチ	大谷デイサービスセンター
	職員会議（毎月）	大谷デイサービスセンター
	支所定例会議（毎月）	社協本吉支所

【成果】感染予防対策を徹底し環境を整え、ふれあいの機会が薄れている中であっても創意工夫し、楽しみのある時間を提供しました。ミサンガを作り地域の関わりある事業所に配布し、活動の一端を知っていただくことや、大谷小児童からは手作りのゲームで楽しませていただくなど、間接的ではありましたが交流の機会をもつことができました。利用者数にはばらつきがあるものの、徐々に増え定員を満たす日もありました。また、運営推進会議は感染予防のため6月と1月に資料を配布し、意見や助言をいただき職員間で共有検討し運営に活かしました。

（令和3年度 介護保険収入目標達成度（当初予算対比） 92.2% 前年度 93.6%）

【課題】新規利用者也増えてきましたが、解約や入院等もあり曜日別の利用者数にはばらつきがあります。更なる周知活動とサービスの質向上を目指していく必要があります。社協独自の施設となつて10年以上が経過し、備品の買い替えや修繕、新規リース導入の必要性も出てきています。

【今後の取組】感染症予防対策を継続するとともに職員一人一人の意識を高め、研修への積極的参加により知識や技術を深め、更なるサービスの質向上を目指し、実利用者数増と安定した収入を確保できるように努めます。

【決算】事業活動収入	34,638,642円	事業活動支出	33,124,979円
その他の活動による収入	300,000円	施設整備等支出	550,800円
（運用基金事業から繰入）		その他の活動支出	732,768円
		当期資金収支差額	530,095円

(10) グループホーム・桑の実

【概要】感染予防対策や事業継続の観点から、「施設内にウイルスをもちこまない。感染者をださない。」ことを念頭に置き事業運営に取り組みました。地域の方々との交流やご家族様との面会を制限せざるを得ない状況で、入居者様がストレスを抱えないことに留意し、コロナ禍での地域との関わりや施設行事の在り方を熟慮しながら事業運営を行いました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	4	3	1	0	1	9
	回	0	0	0	120	88	30	0	30	268
5	人	0	0	0	4	3	1	0	1	9
	回	0	0	0	124	93	31	0	31	279
6	人	0	0	0	4	3	1	0	1	9
	回	0	0	0	120	90	30	0	10	250
7	人	0	0	0	5	3	1	0	0	9
	回	0	0	0	155	93	31	0	0	279
8	人	0	0	0	5	3	1	0	0	9
	回	0	0	0	155	93	31	0	0	279
9	人	0	0	0	6	3	1	0	0	10
	回	0	0	0	154	79	30	0	0	263
10	人	0	0	0	6	2	1	0	0	9
	回	0	0	0	186	62	31	0	0	279
11	人	0	0	0	5	3	1	0	0	9
	回	0	0	0	150	90	30	0	0	270
12	人	0	0	0	5	2	2	0	0	9
	回	0	0	0	155	62	62	0	0	279
1	人	0	0	0	4	3	2	0	0	9
	回	0	0	0	124	93	62	0	0	279
2	人	0	0	0	4	3	2	0	0	9
	回	0	0	0	112	84	56	0	0	252
3	人	0	0	0	4	3	2	0	0	9
	回	0	0	0	124	93	62	0	0	279
計	人	0	0	0	56	34	16	0	3	109
	回	0	0	0	1,679	1,020	486	0	71	3,256
前年度	人	0	0	0	48	26	22	0	12	108
	回	0	0	0	1,414	790	658	0	365	3,227

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年4月21日	個人防護具の着脱に関する研修会	気仙沼市中央公民館会議室
5月21日	新型コロナウイルス感染症にかかる研修会（高齢企画係）	桑の実
6月23日	入居・退居等検討委員会	桑の実
9月21日	入居・退居等検討委員会	桑の実
10月21日	桑の実自衛消防避難訓練（夜間想定避難訓練・搬送法）	桑の実
10月27日	防火管理者協会事業所指定訓練（総合訓練）	気仙沼消防唐桑出張所
〃	感染症研修（施設の感染対策に関する助言・質疑応答）	桑の実
令和4年1月25日	感染症研修（陰圧装置設置シミュレーション）	桑の実
	・唐桑支所事業管理者会議（全5回）	
	・運営推進会議（全6回）（郵送による代替え開催）	
	・ケア会議（毎月1回）	
	※個別ケア会議・認知症研修等	
	・スタッフ会議（毎月1回）	
	※個別ケア会議・感染症研修等	
	※身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会（随時）	

【成果】感染症対策に重点を置き、職員が感染予防に高い意識を持ち徹底したことで、新型コロナウイルス感染者を出すことなく、利用者には安心して施設利用していただくことができました。また、条例改正により住居費と水道光熱費の適正価格への見直しや桑の実への収入となったことが経営の安定につながる要因となりました。

（令和3年度 介護保険報酬目標達成度（当初予算対比）：100.6% 前年度：99.6%）

【課題】経年劣化や地震等により修理が必要な箇所は速やかに市への修繕要望につなげ、利用する方々が安心して生活できるようにいたします。また、更なる事業の効率化を常に考え、改善していくことで事業の健全性を高めていくことが必要です。

【今後の取組】新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、施設内感染やクラスターの発生防止に努めます。また、入院や入退居による空室での介護報酬減少を最小限に抑えるための取り組みを行います。

【決算】事業活動収入	39,754,138円	事業活動支出	37,860,378円
施設整備等収入	664,000円	施設整備等収入	664,400円
その他の活動による収入	500,000円	その他の活動による支出	1,470,096円
（運用基金繰入	500,000円）	当期資金収支差額	923,264円

(11) もとよし福祉用具貸与事業所(福祉用具貸与)

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	23	28	17	11	8	14	7	57	85
5	人	5	22	27	21	12	10	14	7	64	91
6	人	6	22	28	21	14	9	16	8	68	96
7	人	6	22	28	17	17	10	18	7	69	97
8	人	7	22	29	18	17	10	16	7	68	97
9	人	9	22	31	16	18	10	17	7	68	99
10	人	9	19	28	18	20	11	15	9	73	101
11	人	8	22	30	16	19	10	17	9	71	101
12	人	8	21	29	16	21	10	18	7	72	101
1	人	8	21	29	16	21	10	18	7	72	101
2	人	7	21	28	15	20	10	18	6	69	97
3	人	8	20	28	15	22	10	19	5	71	99
計	人	86	257	343	206	212	118	200	86	822	1,165
前年度	人	50	271	321	180	173	126	192	104	775	1,096

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年6月10日	福祉用具ショートWeb研修(オンライン)	本吉支所
7月7日	気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会 職員スキルアップ研修会「職員スキルアップ研修」	はまなすホール
7月21日	福祉用具ショートWeb研修(オンライン)	本吉支所
8月20日	福祉用具ショートWeb研修(オンライン)	本吉支所
9月29日	宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部研修(オンライン) ～新型コロナウイルスを正しく理解し、正しく対応しましょう～	本吉支所
11月18日	令和3年度相談技法Web研修会(オンライン)	本吉支所
2月2日	BCP作成Web研修(オンライン)	本吉支所
随時	事業所内会議：支所定例会議及び伝達研修(随時開催)	

【成果】社協のサービス事業所として利用者の生活全般を支援できるよう、関係機関との連携を強化しながら総合的なサービスを心掛けて対応しました。また、職員のスキルアップを図るため、ウェブ研修や内部研修と合わせたミニ展示会を開催しました。

事業周知として車両へ事業所名のステッカーを貼り、車両での周知活動も行いました。

(令和3年度 介護保険報酬目標達成度(当初予算対比)：98.2% 前年度：96.7%)

【課題】利用者数としては増加しておりますが、軽度者が増加しており個人ごとの貸与単価が減少していることから、大きな売上増には繋がっていない状況にあります。

【今後の取組】利用者を増やすための周知活動や職員のスキルアップなどの取組みを継続していきながら、コスト削減に向けた新たな取組みを進め安定経営に努めていきます。

【決算】事業活動収入	13,183,952円	事業活動支出	13,801,312円
その他の活動収入	261,000円	その他の活動による支出	130,403円
		当期資金収支差額	△486,713円

(12) もとよし福祉用具貸与事業所（特定福祉用具販売）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	人	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
6	人	0	1	1	1	1	0	0	0	2	3
7	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	人	0	1	1	2	1	0	0	0	3	4
10	人	0	1	1	0	0	0	1	0	1	2
11	人	1	1	2	1	0	0	0	0	1	3
12	人	1	0	1	0	1	0	0	0	1	2
1	人	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
2	人	1	0	1	1	0	1	1	0	3	4
3	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	人	3	4	7	5	5	1	3	0	14	21
前年度	人	0	2	2	3	2	1	2	0	8	10

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年6月10日	福祉用具ショートWeb研修（オンライン）	本吉支所
7月7日	気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会 職員スキルアップ研修会「職員スキルアップ研修」	はまなすホール
7月21日	福祉用具ショートWeb研修（オンライン）	本吉支所
8月20日	福祉用具ショートWeb研修（オンライン）	本吉支所
9月29日	宮城県ケアマネジャー協会気仙沼市支部研修（オンライン） ～新型コロナウイルスを正しく理解し、正しく対応しましょう～	本吉支所
11月18日	令和3年度相談技法Web研修会（オンライン）	本吉支所
2月2日	BCP作成Web研修（オンライン）	本吉支所
随時	事業所内会議：支所定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】特定福祉用具を販売することで、これまで行ってきた貸与だけでは補いきれなかった利用者のニーズや日常生活の自立支援を補う一助となりました。

（令和3年度 介護保険報酬目標達成度（当初予算対比）：63.8% 前年度：241.2%）

【課題】月ごとに販売する件数や金額が大きく変動することから、先を見通すことが難しいところがあり、中々安定的な収入に繋がらない状況にあります。

【今後の取組】利用者を増やすための周知活動や職員のスキルアップなどの取組みを貸与事業と一体的に行っていきながら、コスト削減に向けた新たな取組みを進め安定経営に努めていきます。

【決算】事業活動収入 667,360円

事業活動支出 697,241円
 当期資金収支差額 △29,881円
 （前期末支払資金残高から充当）